



知基第 21 号
平成31年 4月15日

在日米軍沖縄地域調整官
エリック M. スミス 殿

沖縄県知事 玉城 デニー



北谷町における在沖海兵隊所属米海軍兵が関係する事件について

平成31年 4月13日、在沖第三海兵師団所属の米海軍兵の男性が日本人女性を殺害した後、自殺したとみられる事件が起きました。

今回の事件は、殺人事件でかつ、加害者が自殺したとみられる特異な事件で、県民に大きな不安を与えるものであり、断じて許せるものではなく、強く抗議します。

県はこれまで米軍人・軍属等による事件・事故が発生するたびに、綱紀粛正、再発防止及び教育の徹底等を米軍等に何度も繰り返し強く申し入れてきました。

しかし、3年前に米軍属よる女性の殺人事件が起こり、まだ、記憶に新しい中でこのような事件が起き、県民の尊い命が失われたことは、大変遺憾であり、激しい怒りを覚えます。

県としては、これまで、事件が起こるたびに米軍に対し再発防止を求めているものの、このような事件が再び起きたことは、米軍の綱紀粛正、人権教育等が全く機能していないと言わざるを得ません。

このような悲惨な事件が二度と起きないように、米軍及び日米両政府の責任において、実効性のある抜本的な対策を講ずるよう強く求めます。

知基第21号
平成31年4月15日

在沖米国総領事
ロバート・ケプキー 殿

沖縄県知事 玉城 デニー



北谷町における在沖海兵隊所属米海軍兵が関係する事件について

平成31年4月13日、在沖第三海兵師団所属の米海軍兵の男性が日本人女性を殺害した後、自殺したとみられる事件が起きました。

今回の事件は、殺人事件でかつ、加害者が自殺したとみられる特異な事件で、県民に大きな不安を与えるものであり、断じて許せるものではなく、強く抗議します。

県はこれまで米軍人・軍属等による事件・事故が発生するたびに、綱紀粛正、再発防止及び教育の徹底等を米軍等に何度も繰り返し強く申し入れてきました。

しかし、3年前に米軍属よる女性の殺人事件が起こり、まだ、記憶に新しい中でこのような事件が起き、県民の尊い命が失われたことは、大変遺憾であり、激しい怒りを覚えます。

県としては、これまで、事件が起こるたびに米軍に対し再発防止を求めているものの、このような事件が再び起きたことは、米軍の綱紀粛正、人権教育等が全く機能していないと言わざるを得ません。

このような悲惨な事件が二度と起きないように、米軍及び日米両政府の責任において、実効性のある抜本的な対策を講ずるよう強く求めます。